

社協だより

第163号

2014.9.1

点字・墨字版あります

【編集・発行】社会福祉法人 直方市社会福祉協議会 〒822-0034 直方市大字山部616-145
TEL0949(23)2551 FAX0949(23)2552
e-mail:nogatashakyo@fuga.ocn.ne.jp HP:http://www.nogatashakyo.org/

墨字

普段社協だよりなどに使われているサイズの文字。

こんにちは

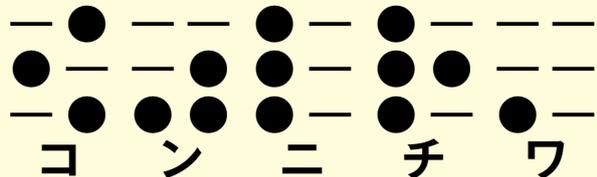
拡大文字

少しなら見える方が読めるように、文字のサイズを大きくしたり、色や配置を変更したりして読みやすくしている文字。

こんにちは

点字

目の見えない方が指でなぞって読む文字。本来は、●の部分に凹凸があります。



関連記事は3ページ目にもあります。

もくじ

- ゲストティーチャー、福祉教育 2
- 地域の輪(点訳サークルきつつき) 情報の広場(点訳、拡大文字が必要な方は居ませんか? 点字講習会開催・男性介護者のつどい開催) 2
- 図書室(海賊とよばれた男 上・下) 3
- お知らせ(福祉まつり開催・赤い羽根共同募金運動のお知らせ・筑豊若者サポートステーション) 3
- ご寄付(直方市ゴルフ協会・福祉車両購入) 4

kantera

カンテラ

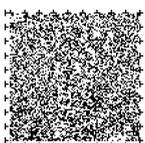


点字カルタ

30年近く前、息子が小学校2年生になったとき、我が家を開放して「おもしろ塾」をはじめました。絵本の読み聞かせを始め、子どもたちと毎週色んな経験や体験をしました。その一つに「点字カルタ」があります。子どもたちは馬糞紙を画用紙大に切り、それに黒マジックで「あ」から「ん」まで大きな黒丸を描いていきます。点字は50音が六つの凸点の組み合わせで出来ています。描いた50音を覚え、簡単な単語を選ぶゲームをするのです。「わいわいがやがや」大騒ぎです。

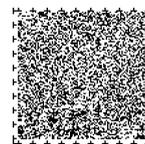
今彼らは大人になり生活の中でこの経験がどういう意味だったのかと、思うことがあるかもしれない。それはなんて嬉しいことでしょう。みんなありがとう。

(田中)



ゲストティーチャー

福祉教育 ～生の声を届けます～



●ゲストティーチャーとは？

ゲストティーチャーという言葉を開いたことはありませんか。小学校などの総合的な学習の時間をきっかけに広がった言葉です。

ゲストティーチャーとは、学校の授業や子供会の活動、その他の団体の活動などに招いた一般市民の指導者のことです。例えば、いろいろな職業の人、ボランティア活動をしている人、様々な知識や趣味を持つ人、障害の当事者など、さまざまな人がその対象となります。その道の専門家や、当事者の話す言葉は、生きた情報・本物の体験として伝わります。

その中でも、今回は福祉教育におけるゲストティーチャーに注目します。

●直方市での活動

直方市で行われている活動を、2つ紹介します。

1つ目はボランティア活動をされている方です。点訳サークル



つきの皆さんが、小学校へ行き、目が見えないことや、点字についてお話をしており、実際に点字を打つ体験

なども行っています。

2つ目は障害の当事者の方です。車いす



で生活されている方が小学校へ行き、ご自身の経験や思いを子どもたちに伝えられています。

このような活動を通して、当事者の方や、ボランティアの方などと触れ合う機会を作り、福祉に関する興味・知識を得ることができます。

●連絡先

福祉関係の当事者・関係者に関することや、車いすや白杖などの福祉体験で使う道具の貸し出しなどに関するご相談がありましたら、ご連絡ください。

〈直方市社会福祉協議会〉
月～土 8時30分～17時
TEL 0949 (23) 2551

●参考資料

全国社会福祉協議会作成リーフレット「地域との連携によりはぐくむともに生きる力」(平成25年3月)



URL: <http://www.zcwwc.net/>
福祉教育・ボランティア学習について

実際に小学校に行かれ、ゲストティーチャーとしてご自身の体験を交えながらお話をされている藤田さんに、思いを伺いました。

■福祉学習を通して「思いやりの心」の大切さを

はじめは10数年前に、社会福祉協議会の方より「福祉教室で私たち健常者が何を言っても説得力がとほしいので、障害当事者が協力を」とお声が掛かったのがきっかけでした。

責任重大ですが、福祉に興味を持っていただき、障害者へのステレオタイプな固定観念が根付く前の次世代を担う子どもたちへと思いを、私の車いすを使用している経験に基づいた話を、時には車いす体

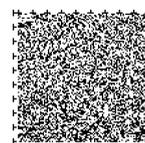
験を交えて、お伝えさせていただいていきます。

内容は、私

が中途障害者になった経緯や心の葛藤、地域で生活する中で感じていること、人の優しさに触れる中で心の变化、バリアフリーやノーマライゼーションなどの福祉についてなどです。

特に福祉学習を通して、生命への優しさや思いやりの心の大切を感じていただければと、切に願っています。

(藤田)



地域の輪

地域に根ざした独自の
福祉活動をご紹介します。

「点訳サークルきつつき」 視覚障害者へ36年

点訳サークル「きつつき」をご存知ですか。視覚障害者へ点字による情報提供及び視覚障害者との交流を36年間も続けているボランティアグループです。

ボランティアの内容は、①視覚障害者から依頼された本や解説書などの点訳。②各種団体から依頼された書類の点訳。③社協だよりの点訳・拡大文字・スピーチオ

への変換作業と発送。④児童生徒への点字指導。⑤会報「きつつき通信」(2:5:8:11月)の発行と年賀状の送付などです。

先日の定例会では視覚障害者をお持ちの方から依頼された、料理本のレシピ作りの検討がされました。具材の皮むきや面取りなどはレ



ンジを使うとか、盛り付けなどの視覚に訴える表現を具体的な数値に変えるなど、男性も交えながら楽しそうに活動していました。

今後の課題についてお聞きすると、①点字による情報提供が必要な方の把握。②新しいボランティアの不足。③「きつつき」の知名度を上げること。との事でした。

障害を持たれた方は社会生活で種々の苦労を味わっておられることでしょう。お知り合いの中に視覚障害者をお持ちで、点訳などを希望される方がいらつしやればぜひお知らせください。の事でし

点訳・拡大文字が必要な方は居ませんか？

点訳サークルきつつきは、視覚障害などでお困りの方に会報や社協だよりの点字版・拡大文字版の発行を通して、情報提供するボランティア活動を行っています。

点字や拡大文字について情報提供が必要な方、もしくは関心のある方はぜひご連絡ください。また、ご近所に情報を必要としている方がおられましたら、情報提供のご協力をお願いいたします。

連絡先：直方市社会福祉協議会
月～土 8時30分～17時
TEL 0949(23)2551

点字講習会(入門編)を開催します

日時：10月2日～11月20日の毎週
木曜日10時～12時計8回
場所：直方市総合福祉センター
(直方市山部6-15-145)
内容：点字の基礎を学び、実際に点字を打ち、点字の文章を訳します。

参加費：無料
募集人員：20人
主催：点訳サークルきつつき
連絡先：直方市社会福祉協議会
月～土 8時30分～17時
TEL 0949(23)2551

情報の広場

男性介護者のつどい開催

なかなか他では話せないけど「同じ立場の人だったら気軽に話せる」「苦しいのは自分だけじゃない」と、つらさや喜びも共有し「ホッ」と息つける場に、あなたも参加してみませんか？



日時：9月5日(金)14時～16時
場所：直方市中央公民館3階
第3学習室
(直方市津田町7-20)

対象者：男性介護者の方(奥様やご両親などを介護している方。もしくはその経験者)をされた方
内容：お茶を飲みながらの意見交換会
参加費：無料
申し込み：TEL・FAX・メールなどにてお申し込みください。

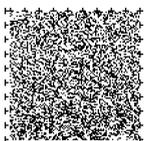
連絡先：直方市社会福祉協議会
月～土 8時30分～17時
TEL 0949(23)2551
FAX 0949(23)2552
E-mail: nogata-syakyoo@fuga.ocn.ne.jp
主催：直方市社会福祉協議会
共催：認知症の人と家族の会直方

図書室



「海賊とよばれた男上・下」
著者 百田 尚樹
発行所 講談社
直方市立図書館蔵書

敗戦の夏、異端の石油会社「国岡商店」を率いる国岡鐵造は、全てを失った。重苦しい空気に包まれた重役会議。「この際、思い切って人員整理をすべきです」「ならん」と鐵造は言った。「たしかに国岡商店の事業はすべてなくなり、残っているのは借金ばかりだ。しかしわが社にはなによりも素晴らしい財産が残っている。一千名にもなる店員たちだ。彼らこそ国岡商店の資本であり財産である。国岡商店の社是である『人間の尊重』の精神が今こそ発揮されるときではないか」
石油を武器に世界と闘った男、出光興産創業者出光佐三をモデルにした、血湧き肉躍る歴史経済小説！一読を。
(広田)



第38回 福祉まつり 開催

今年で38回目の開催となる福祉まつり。毎年多くのボランティアに支えられて開催されています。

「地域の福祉、みんなで参加」を合言葉に、福祉教育や市民交流、関係機関・団体の連携を深めます。

各種ステージや手話コーラス、見えにくさ体験・車いす体験・高齢者体験などの各福祉体験コーナー、おいしい食べ物、物販など催し物が目白押し。

どなたでも自由に参加できますので、ぜひ遊びに来てみてください。

■ 日時

平成26年
10月26日(日)
10時～15時

■ 会場

直方市体育館
(直方市直方674-25)

【お問い合わせ】

直方市社会福祉協議会
Tel 0949 (23) 2551



筑豊若者サポートステーション

働けない若者を支援します。

臨床心理士や個性あふれる経験豊かなスタッフが、一人一人に合わせたグループワークや職業講話、面接訓練、就労体験など、コミュニケーションスキルから実際の就労までステップアップを図ります。

また、必要に応じて保護者を対象としたセミナーや個別相談などを開催し、若者の自立に向けた支援の在り方や、若者への接し方、保護者ご自身の悩みへの相談などにも応じています。

相談、各種プログラムなどは全て無料です。

詳しくはサポステのホームページをご覧ください。ただか、直接お問い合わせください。

【お問い合わせ】

筑豊若者サポートステーション

(対象年齢15歳～39歳)

<http://chikuhou-saposute.com/>

TEL 0948 (26) 6711



赤い羽根共同募金運動が始まります

今年も10月1日～12月31日までの3ヶ月間、赤い羽根共同募金運動が全国で一斉展開されます。

赤い羽根共同募金は、民間の社会福祉事業を支援するための募金として社会福祉法に位置づけられ、市内の高齢者、障害者、子どもたちやボランティアなど、様々な地域の福祉活動を支えています。

皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

赤い羽根のホームページ

『はねっと』<http://www.akaihane.or.jp/>



ご寄付ありがとうございます。
ごぞいいます。



平成26年5月11日
〜平成26年8月10日
13件合計金額286,100円
(お名前は承諾された方のみ
掲載、敬称略)

香典返し寄付金

● 下新入 西尾 正子

● 頓野 古田ミネ子

● 下新入 (故)堀田 正光

● 植木 石橋津代子

● 神正町 能間 聡

● 感田 (故)栗原タマエ

● 上頓野 (故)藤田 初枝

● 下新入 千葉 喜昭

● 上頓野 (故)藤田 英徳

● 山部 石原 正義

一般寄付金

● 木曜会

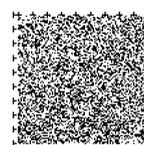
● 直方市ゴルフ協会

福祉車両購入

平成25年度赤い羽根共同募金の配分を受け、車いす対応車両を購入させていただきました。市民のみなさまありがとうございました。



直方市
ゴルフ協会
より寄付



直方市ゴルフ協会から、6月5日にご寄付頂きました。ご寄付は、5月21日に開催されました、市民チャリティゴルフ大会の収益の一部です。協会の皆様のご厚意に感謝致します。



編集後記

健康寿命 介護などを必要とせず自立して日常生活を送れる期間。これを延ばせば介護や医療を受ける人が減ることで少しでも国の社会保障費が削減できる。それよりも何よりも、本人が一番気になる家族に掛ける長期介護負担の僅かでもの負担軽減が、高齡化の進展に伴い健康寿命を延ばす重要性が今後一層高まっていくと思われます。
(広田)

